アノテーションを使用してストレージオブジェクトイベントの優先順位を付ける

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/health-checker/concept_what_annotations_are.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

アノテーションを使用してストレージオブジェクトイベントの優先順位を付ける . . . 1
アノテーションの詳細 . . . 1
Active IQ Unified Manager のアノテーションについて学ぶ . . . 1
Active IQ Unified Manager におけるアノテーションルールの仕組みを理解する . . . 1
Active IQ Unified Manager の定義済みアノテーション値について . . . 3
Active IQ Unified Manager で注釈を動的に追加する . . . 4
Active IQ Unified Manager で注釈に値を追加する . . . 4
Active IQ Unified Manager でアノテーションを削除する . . . 4
Active IQ Unified Manager で注釈リストと詳細を表示する . . . 5
Active IQ Unified Manager の注釈から値を削除する . . . 5
Active IQ Unified Manager で注釈ルールを作成する . . . 6
アノテーション ルールの作成例 . . . 6
Active IQ Unified Manager で個々のストレージオブジェクトに手動でアノテーションを追加する . . . 7
Active IQ Unified Manager で注釈ルールを編集する . . . 8
Active IQ Unified Manager でアノテーションルールの条件を設定する . . . 8
アノテーション ルールの条件の設定例 . . . 9
Active IQ Unified Manager で注釈ルールを削除する . . . 9
Active IQ Unified Manager での注釈ルールの並べ替え . . . 9

アノテーションを使用してストレージオブジェクトイベントの優先順位を付ける

アノテーションの詳細

Active IQ Unified Manager のアノテーションについて学ぶ

アノテーションとは、あるテキスト文字列（名前）と別のテキスト文字列（値）の組み合わせです。アノテーションの名前と値の各ペアは、アノテーション ルールを使用して動的にストレージ オブジェクトに関連付けることができます。ストレージオブジェクトを定義済みのアノテーションに関連付けると、それらに関連するイベントをフィルタリングして表示できます。アノテーションは、クラスタ、ボリューム、およびStorage Virtual Machine（SVM）に適用できます。

アノテーションの名前には、それぞれ複数の値を割り当てることが可能です。それらの名前と値の各ペアをルールに基づいてストレージ オブジェクトに関連付けることができます。

例えば、「`data-center`」という名前のアノテーションを作成し、その値として「`Boston`」と「`Canada`」を設定できます。その後、ボリューム v1 に値「`Boston`」を持つアノテーション「`data-center`」を適用できます。「`data-center`」というアノテーションが付いたボリューム v1 上のイベントに対してアラートが生成されると、生成されるメールにはボリュームの場所「`Boston`」が示され、問題の優先順位付けと解決が可能になります。

Active IQ Unified Manager におけるアノテーションルールの仕組みを理解する

アノテーションルールとは、ストレージオブジェクト（ボリューム、クラスタ、またはストレージ仮想マシン（SVM））にアノテーションを付ける際に定義する基準のことです。アノテーションルールを定義するには、条件グループまたは条件のいずれかを使用できます。

- アノテーションには必ずアノテーション ルールを関連付ける必要があります。
- アノテーション ルールにはオブジェクト タイプを関連付ける必要があります。関連付けることができるオブジェクト タイプは1つだけです。
- Unified Managerは、各監視サイクル後、またはルールが作成、編集、削除、もしくは並べ替えられたときに、ストレージオブジェクトに注釈を追加または削除します。
- アノテーション ルールには1つ以上の条件グループを、各条件グループには1つ以上の条件を含めることができます。
- ストレージ オブジェクトには複数のアノテーションを適用できます。特定のアノテーションに対するアノテーション ルールの条件で別のアノテーションを使用して、すでにアノテートされているオブジェクトに別のアノテーションを追加することもできます。

Conditions

複数の条件グループを作成し、各条件グループに1つ以上の条件を含めることができます。アノテーションのアノテーション ルールに定義されたすべての条件グループを適用して、ストレージ オブジェクトをアノテー

トすることができます。

条件グループに含まれる条件は論理ANDを使用して実行され、条件グループのすべての条件を満たす必要があります。条件はアノテーション ルールを作成または変更すると作成され、条件グループのすべての条件を満たすストレージ オブジェクトのみが適用、選択、およびアノテートの対象となります。アノテートするストレージ オブジェクトの範囲を限定するには、条件グループで複数の条件を使用します。

次のオペランドと演算子を使用して必要な値を指定することで、ストレージ オブジェクトの条件を作成できます。

ストレージオブジェクトタイプ	適用可能なオペランド
Volume	• オブジェクト名 • 所有クラスタ名 • 所有SVM名 • アノテーション
SVM	• オブジェクト名 • 所有クラスタ名 • アノテーション
クラスタ	• オブジェクト名 • アノテーション

ストレージオブジェクトのオペランドとして注釈を選択すると、「`Is`」演算子が使用可能になります。その他のオペランドについては、演算子として「`Is`」または「`Contains`」のいずれかを選択できます。「`Is`」演算子を選択すると、オペランドの値が、選択したオペランドに指定された値と完全に一致するかどうかが評価されます。「`Contains`」演算子を選択すると、条件は次のいずれかの基準を満たすかどうか評価されます。

- 選択したオペランドの値が指定した値と完全に一致する。
- 選択したオペランドの値に指定した値が含まれる。

条件を使用したアノテーション ルールの例

ボリュームに対して条件グループが1つ設定されたアノテーション ルールで、次の2つの条件が定義されているとします。

- 名前に「`vol`」が含まれています
- SVM名は「`data_svm`」です。

この注釈ルールは、名前に「`vol`」が含まれ、かつ「`data_svm`」という名前のSVM上でホストされているすべてのボリュームに、選択された注釈と注釈タイプを注釈として付与します。

条件グループ

条件グループは論理ORを使用して実行され、ストレージ オブジェクトに適用されます。ストレージ オブジェクトがアノテートされるためには、いずれかの条件グループの要件を満たす必要があります。いずれかの条件グループの条件を満たすすべてのストレージ オブジェクトがアノテートされます。条件グループを使用し

て、アノテートするストレージ オブジェクトの範囲を広げることができます。

条件グループを使用したアノテーション ルールの例

ボリュームに対して条件グループが2つ設定されたアノテーション ルールで、各グループにそれぞれ次の2つの条件が定義されているとします。

- 条件グループ1
  - 名前に「vol」が含まれています
  - SVM 名は「data_svm」です。この条件グループは、名前に「vol」が含まれ、かつ名前が「data_svm」の SVM でホストされているすべてのボリュームにアノテーションを付けます。
- 条件グループ2
  - 名前に「vol」が含まれています
  - data-priority の注釈値は「critical」です。この条件グループは、名前に「vol」が含まれ、data-priority 注釈値が「critical」として注釈付けされているすべてのボリュームに注釈を付けます。

これらの2つの条件グループを含むアノテーション ルールをストレージ オブジェクトに適用した場合、次のストレージ オブジェクトがアノテートされます。

- 名前に「vol」が含まれ、かつ「data_svm」という名前のSVM上にホストされているすべてのボリューム。
- 名前に「vol」が含まれ、データ優先度注釈値が「critical」として注釈付けされているすべてのボリューム。

Active IQ Unified Manager の定義済みアノテーション値について

*データ優先度*は、ミッションクリティカル、高、低の値を持つ、事前定義された注釈です。これらの値を使用すると、ストレージオブジェクトに含まれるデータの優先度に基づいて、ストレージオブジェクトに注釈を付けることができます。定義済みの注釈値は編集または削除できません。

- データ優先度：ミッションクリティカル

  このアノテーションは、ミッション クリティカルなデータが格納されたストレージ オブジェクトに適用されます。たとえば、本番用アプリケーションを含むオブジェクトなどが考えられます。

- データ優先度：高

  このアノテーションは、優先度の高いデータが格納されたストレージ オブジェクトに適用されます。たとえば、ビジネス アプリケーションをホストしているオブジェクトなどが考えられます。

- データ優先度：低

  このアノテーションは、優先度の低いデータが格納されたストレージ オブジェクトに適用されます。たとえば、バックアップやミラーのデスティネーションなど、セカンダリ ストレージにあるオブジェクトなどが考えられます。

Active IQ Unified Manager で注釈を動的に追加する

Unified Managerでカスタム アノテーションを作成すると、クラスタ、Storage Virtual Machine（SVM）、およびボリュームがルールに基づいてアノテーションに動的に関連付けられます。ルールにより、ストレージ オブジェクトにアノテーションが自動的に割り当てられます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「Annotations」ページで、「Add Annotation」をクリックします。
3. *注釈の追加*ダイアログボックスで、注釈の名前と説明を入力します。
4. オプション：**[**注釈値**]** セクションで、**[**追加**]** をクリックして注釈に値を追加します。
5. *保存*をクリックします。

Active IQ Unified Manager で注釈に値を追加する

アノテーションに値を追加し、その後、アノテーションの名前と値の特定のペアにストレージ オブジェクトを関連付けることができます。アノテーションに値を追加することで、より効率的にストレージ オブジェクトを管理できるようになります。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

事前定義されたアノテーションに値を追加することはできません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. **Annotations** ページで、値を追加する注釈を選択し、**Values** セクションの **Add** をクリックします。
3. 「注釈値の追加」ダイアログボックスで、注釈の値を指定します。

   指定する値は、選択したアノテーションで一意である必要があります。
4. *[追加]*をクリックします。

Active IQ Unified Manager でアノテーションを削除する

不要になったカスタム アノテーションとその値を削除できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- アノテーションの値が他のアノテーションやグループ ルールで使用されていないことを確認する必要があります。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「Annotations」タブで、削除する注釈を選択します。

   選択したアノテーションの詳細が表示されます。
3. 選択した注釈とその値を削除するには、**Actions** > **Delete** をクリックします。
4. 警告ダイアログボックスで、**[**はい**]** をクリックして削除を確定します。

Active IQ Unified Manager で注釈リストと詳細を表示する

クラスタ、ボリューム、およびStorage Virtual Machine（SVM）に動的に関連付けられるアノテーションのリストを確認することができます。説明、作成者、作成日、値、ルール、オブジェクトなど、アノテーションに関連する詳細も確認できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. **Annotations** タブで、注釈名をクリックすると、関連する詳細が表示されます。

Active IQ Unified Manager の注釈から値を削除する

カスタム アノテーションに関連付けられている値がそのアノテーションに当てはまらなくなった場合は、値を削除することができます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- アノテーションの値がアノテーション ルールやグループ ルールに関連付けられていないことを確認する必要があります。

事前定義されたアノテーションから値を削除することはできません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. **Annotations** タブの注釈リストから、値を削除する注釈を選択します。
3. 「注釈」タブの「値」領域で、削除する値を選択し、「削除」をクリックします。
4. *警告*ダイアログボックスで、*はい*をクリックします。

   値が削除され、選択したアノテーションの値のリストに表示されなくなります。

Active IQ Unified Manager で注釈ルールを作成する

Unified Managerがボリューム、クラスタ、Storage Virtual Machine（SVM）などのストレージ オブジェクトを動的にアノテートするために使用するアノテーション ルールを作成できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

監視中のストレージ オブジェクトは、アノテーション ルールの作成後すぐにアノテートされます。新しいオブジェクトは、監視サイクルの完了後にアノテートされます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「Annotation Rules」タブで、「Add」をクリックします。
3. *注釈ルールの追加*ダイアログボックスで、注釈ルールの名前を指定します。
4. *対象オブジェクトタイプ*フィールドで、注釈を付けるストレージオブジェクトの種類を選択します。
5. *注釈の適用*フィールドで、使用する注釈と注釈値を選択します。
6. [条件]セクションで、該当する操作を実行して条件、条件グループ、またはその両方を作成します。

作成するには...	操作
条件	a. オペランドのリストからオペランドを選択します。 b. 演算子として「含む」または「である」のいずれかを選択してください。 c. 値を入力するか、使用可能な値のリストから選択します。
条件グループ	a. 条件グループの追加 をクリックします。 b. オペランドのリストからオペランドを選択します。 c. 演算子として「含む」または「である」のいずれかを選択してください。 d. 値を入力するか、使用可能な値のリストから選択します。 e. 必要に応じて*Add condition*をクリックして条件を追加し、各条件について手順a～dを繰り返してください。

7. *[追加]*をクリックします。

アノテーション ルールの作成例

アノテーション ルールを作成し、条件の設定と条件グループの追加を行うには、[アノテーション ルールの追

加]ダイアログ ボックスで次の手順を実行します。

手順

1. アノテーション ルールの名前を指定します。
2. ターゲット オブジェクト タイプとしてStorage Virtual Machine（SVM）を選択します。
3. アノテーションのリストからアノテーションを選択し、値を指定します。
4. 「条件」セクションで、オペランドとして「オブジェクト名」を選択します。
5. 演算子として **Contains** を選択します。
6. 値を `svm_data`として入力してください。
7. 「条件グループを追加」をクリックします。
8. オペランドとして「オブジェクト名」を選択します。
9. 演算子として **Contains** を選択します。
10. 値を `vol`として入力してください。
11. 条件を追加 をクリックします。
12. ステップ8でオペランドとして **data-priority** を選択し、ステップ9で演算子として **Is** を選択し、ステップ10で値として **mission-critical** を選択して、ステップ8から10を繰り返します。
13. *[追加]*をクリックします。

Active IQ Unified Manager で個々のストレージオブジェクトに手動でアノテーションを追加する

アノテーション ルールを使用せずに、選択したボリューム、クラスタ、SVMを手動でアノテートできます。単一のストレージ オブジェクトまたは複数のストレージ オブジェクトをアノテートし、必要なアノテーションの名前と値のペアを指定できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. アノテートするストレージ オブジェクトに移動します。

注釈を追加するには...	操作
クラスタ	a. ストレージ ＞ クラスター をクリックします。 b. 1つ以上のクラスタを選択します。
ボリューム	a. ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。 b. 1つ以上のボリュームを選択します。
SVM	a. ストレージ ＞ **SVM** をクリックします。 b. 1つ以上のSVMを選択します。

2. 注釈 をクリックし、名前と値のペアを選択します。
3. *適用*をクリックします。

Active IQ Unified Manager で注釈ルールを編集する

アノテーション ルールを編集して条件グループおよび条件グループに含まれる条件を変更することで、ストレージ オブジェクトに対してアノテーションを追加または削除できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

関連するアノテーション ルールを編集すると、ストレージ オブジェクトへのアノテーションの関連付けが解除されます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「Annotation Rules」タブで、編集する注釈ルールを選択し、「Actions」>「Edit」をクリックします。
3. 「注釈ルールの編集」ダイアログボックスで、必要に応じてルール名、注釈名と値、条件グループ、および条件を変更します。

   アノテーション ルールのターゲット オブジェクト タイプは変更できません。

4. *保存*をクリックします。

Active IQ Unified Manager でアノテーションルールの条件を設定する

1つ以上の条件を設定して、Unified Managerがストレージ オブジェクトに対して適用するアノテーション ルールを作成できます。アノテーション ルールに一致するストレージ オブジェクトに、ルールで指定した値がアノテートされます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「Annotation Rules」タブで、「Add」をクリックします。
3. *注釈ルールの追加*ダイアログボックスで、ルールの名前を入力します。
4. [ターゲット オブジェクト タイプ]リストからいずれかのオブジェクト タイプを選択し、リストからアノテーションの名前と値を選択します。
5. ダイアログボックスの「条件」セクションで、リストからオペランドと演算子を選択し、条件値を入力するか、「条件の追加」をクリックして新しい条件を作成します。
6. 保存して追加 をクリックします。

アノテーション ルールの条件の設定例

オブジェクトタイプ SVM の条件として、オブジェクト名に「`svm_data`」が含まれる場合を考えます。

条件を設定するには、[アノテーション ルールの追加]ダイアログ ボックスで次の手順を実行します。

手順

1. アノテーション ルールの名前を入力します。
2. ターゲット オブジェクト タイプとしてSVMを選択します。
3. アノテーションのリストからアノテーションと値を選択します。
4. 「条件」フィールドで、オペランドとして「オブジェクト名」を選択します。
5. 演算子として **Contains** を選択します。
6. 値を `svm_data`として入力してください。
7. *[追加]*をクリックします。

Active IQ Unified Manager で注釈ルールを削除する

不要になったアノテーション ルールは、Active IQ Unified Managerから削除できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

アノテーション ルールを削除すると、アノテーションの関連付けが解除されてストレージ オブジェクトから削除されます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「Annotation Rules」タブで、削除する注釈ルールを選択し、「Delete」をクリックします。
3. 「警告」ダイアログボックスで、「はい」をクリックして削除を確定します。

Active IQ Unified Manager での注釈ルールの並べ替え

Unified Managerで、アノテーション ルールをストレージ オブジェクトに適用する順序を変更することができます。アノテーション ルールは、ランクに基づいてストレージ オブジェクトに順番に適用されます。アノテーション ルールには、設定した時点では最も低いランクが割り当てられます。ただし、要件に応じてアノテーション ルールのランクを変更することができます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

単一の行または複数の行を選択し、ドラッグ アンド ドロップ操作を繰り返し行って、アノテーション ルールのランクを変更することができます。ただし、変更後の優先順序は変更を保存するまで[アノテーション ルール]タブに表示されません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ 注釈 をクリックします。
2. 「注釈ルール」タブで、「並べ替え」をクリックします。
3. 『注釈ルールの並べ替え』ダイアログボックスで、1行または複数行をドラッグアンドドロップして、注釈ルールの順序を並べ替えます。
4. *保存*をクリックします。

   変更後の順序は表示するには、変更内容を保存する必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。